

5. 説明書類編

5-1. 取扱説明書

ガス給湯暖房機

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、東和ガスのガス給湯暖房機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できるように大切に保管してください。

○この取扱説明書の取扱説明が保証書に添付されています。お買い上げ日、場所、店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

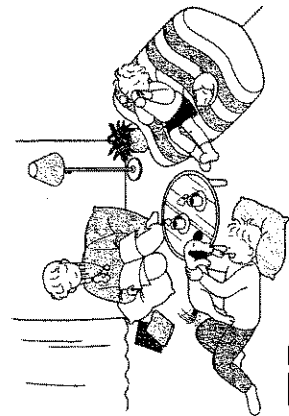
○東和ガスが保証書に添付している保証書は、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合は、ご不明な点がなければお買い上げの取扱説明書は、もよりの東和ガスにお問い合わせください。



図はBD-2899ARSです。

型 式 名
YG1639R・RG・RQ・RM・RN (BL認定品)



TOHO GAS

品名コード

BD-2899ARSGL
BD-2899ARS4L
BD-2899ARS6L
BD-2899ARS8L
BD-2899ARS2L

1. 使用前に

- 特に注意していただきたいこと・・・1～6
- 各部のなまえとはたらき・・・7
- リモコンについて・・・8～11
(お所・浴室・換気リモコン)
- 安全装置について・・・12

2. 使いかた

- はじめてお使いになるときは 13～14
 - ・運転前の準備と確認・・・13～14
 - ・現在時刻の合わせかた・・・13～14
- お湯の出しかた・・・15～18
(別売リモコンがある場合)
 - ・お湯の出しかた・・・15～18
 - ・優先表示について・・・17
 - ・給湯給湯器の配管について・・・18
- 湯はりコールドのしかた・・・19～22
(別売台所リモコンがある場合)
 - ・湯はりコールドのしかた・・・19～22
- お湯の出しかた・・・23
(別売リモコンがない場合)
 - ・暖房のしかた・・・24
 - ・床暖房のしかた・・・25～26
(床暖房制御機能付リモコン使用時)
 - ・床暖房予約のしかた・・・27～30
(床暖房制御機能付リモコン使用時)
 - ・予備暖房運転のしかた・・・31
(浴室予備暖房スイッチ付リモコン使用時)
 - ・呼び出し音を鳴らしたいとき・・・32
 - ・凍結予防のしかた(1)・・・33～34
 - ・凍結予防のしかた(2)・・・35

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・36～37
 - ・点検・・・36
 - ・お手入れ・・・37
- 故障かな?と思ったら・・・38～40
- アフターサービス・・・41
- 仕様・・・42
- 保証書・・・裏表紙

TH13

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と給表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

△危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
○お願い	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を搬運された人も含みます。
※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を簡明な文書で表記しています。
(例：ガス漏れのおそれがあります。)

■注意事項の給表示と意味はつぎのとおりです。

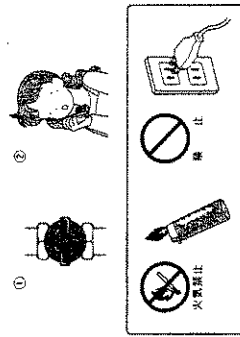
給表示	意 味	給 表 示	意 味
△	特定しない一般的な危険・警告・注意	○	特定しない一般的な禁止
△	感 電 注 意	⊗	火 気 禁 止
△	高 温 注 意	⊗	接 触 禁 止
△	発 火 注 意	⊗	ぬ れ 手 禁 止
⚠	必 ず 行 う	⚡	分 解 禁 止
⚡	ア ー ス 必 要	🔌	電 源 プラグ を 抜 く

△危険

ガス漏れ時の処置

- ①すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
- ②販売店または、もよりの東邦ガスに連絡する。

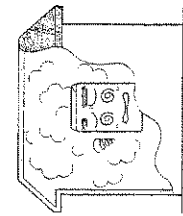
- ・上記①～②の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。
- ・火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



△危険

屋内設置の禁止

- ・この機器は屋外給湯形のため、屋内（浴室も含む）には絶対に設置しない。
- ・不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

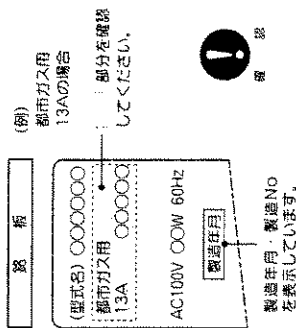


△警告

使用ガス・電源について

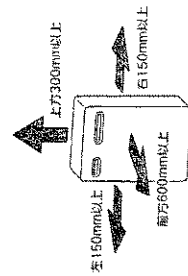
- ・必ず銘板（機器前面に貼付）に表示しているガスの種類（ガスグループ）を使用する。
- ・表示以外のガスで使用するすると燃発点火や異常燃焼などの原因になります。
- ・電源は、AC100V・60Hzを使用する。
- ・他の電源で使用するすると火災や感電などのおそれがあります。
- ・転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。

わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡する。



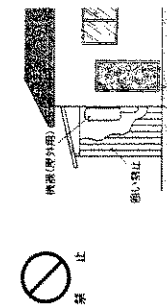
周囲の防火処置について

- ・本体のまわりに燃えやすい物（樹木・木材・薪など）がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
- ・火災のおそれがあります。



囲いなどの禁止

- ・機器設置後、増改築などにより屋内状態にしない。
- ・また、液板などによって囲いをしない。
- ・火災：一酸化炭素中毒のおそれがあります。

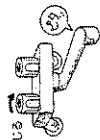


警告

異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①～④の手順に従ってあわてずみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの兼売ガスに連絡する。

①給湯栓を閉じる。



②(リモコンがある場合) リモコンの運転スイッチを「切」にする。



③暖房機器の運転スイッチを「切」にする。

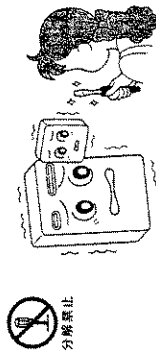
④ガス栓、給水元栓を閉じる。



火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

分解禁止

- 修理技術者以外の人には絶対に機器やリモコンを分解したり、修理・改造を行わない。異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。



機器の設置・移動工事について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの兼売ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。火災や思わぬ事故の原因になります。

やけどに注意

- シャワーなどお湯を使用する場合は、まず手のひらでお湯の温度を確かめてから使用する。



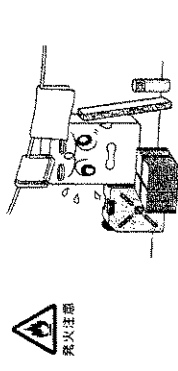
- 入浴の際は、手でお湯の温度を確かめてから入浴する。
- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。やけどのおそれがあります。



火災の予防

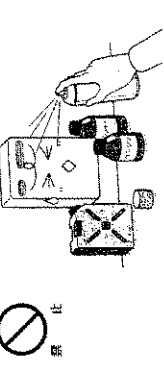
- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(洗濯物、新聞紙、木材、スプレー缶、灯油など)を置かない。

火災・爆発のおそれがあります。



- 機器の周辺でスプレー・ベンジン・ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。

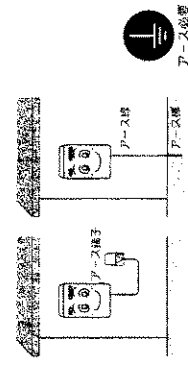
火災・爆発のおそれがあります。



注意

アースの確認

- この機器はアースが必要のため、アースされているか確認する。機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



用途について

- 給湯、シャワー以外の用途には使用しない。思わぬ事故の原因になります。
- この機器はソーラー(太陽熱温水)システムには接続できません。やけどのおそれがあります。
- この機器はふろヒーターには接続できません。設置後、トラブルの原因になります。

(床暖房が設置されている場合)

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かない。床材の割れ、そり、すき間の原因になります。
- カーペット式床暖房に鋭利なものを刺したり、落としたり、釘打ちなどしない。温水パイプが破損する原因になります。

やけどに注意

- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。
- やけどのおそれがあります。

(床暖房が設置されている場合)

- 床暖房のうえで長時間座ったり、寝そべったりしない。
- 低温やけどのおそれがあります。

- パネルヒーターの表面はさわらない。とくに小さなお子さまのいるご家庭では注意する。やけどのおそれがあります。

電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。
- 感電やショート発火による火災のおそれがあります。



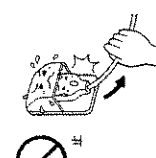
- 電源プラグの差し込みは確実に行う。差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。



- 濡れた手で電源プラグをさわない。感電のおそれがあります。



- 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない。



- 電源プラグはほこりをふき取る。



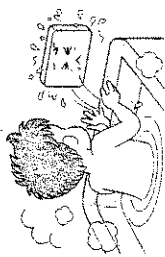
お願い

リモコンについて

- リモコンは子どもがいたずらしないよう注意してください。
- 急な温度変化や結露でやけどのおそれがあります。
- リモコンには水をかけないでください。
- 浴室リモコン・増設リモコンは防水タイプですが、故障に水をかけると故障の原因になります。

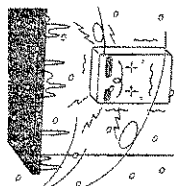


禁止



凍結に注意

- 冬期は凍結による機器の破損を予防するため、必要な処置を行ってください。
 - (33～35ページ参照)
- 凍結すると水漏れや故障の原因になります。

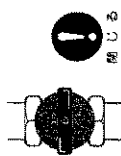


市販の補助具について

- この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。
- 思わぬ事故の原因になります。
- 給湯機の先端に泡湯水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを予防するためガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。
- (35ページ参照)



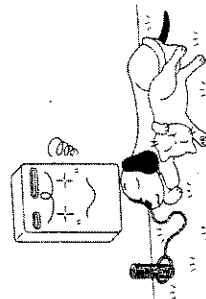
閉じる

機器の周囲について

- 機器の周囲に犬などのペットをつながないでください。
- ペットの毛などが機器内に詰まり、不完全燃焼の原因になります。



禁止



飲用に使用するときは

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水として使用してください。
- その後、飲用や調理に使用してください。

お願い

日常の点検・お手入れについて

- お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。
- (36～37ページ参照)
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
- 湯アカが残っていると、水中に蓄まれるわずかな銅イオンと石けんに含まれる脂肪酸とが反応して青く変色することがあります。
- リモコンを掃除するときは、ペンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。
- リモコンが変形する場合があります。

積雪時における注意

- 積雪時には排気トッブ・給気口の点検、除雪を行ってください。
- 排気トッブ・給気口がふさがれると不完全燃焼の原因になります。
- 積雪や屋根からの落雪により排気トッブが倒れたり、傾いたりしている場合は、落雪対策が必要です。お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

排気ガスについて

- 煙改竄などにより、排気ガスが直接建物の外壁や窓（縁入、網入板ガラス）、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
- ガラスが割れたり、変色する原因になります。

断水時の処置

- 断水時は給湯性を閉じてください。
- リモコンがある場合、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、13ページからの「使いかた」に従って操作してください。

定期点検について

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）
- お問い合わせの販売店または、もよりの東邦ガスに相談してください。

運転停止時の注意

- 燃焼中にガス性を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

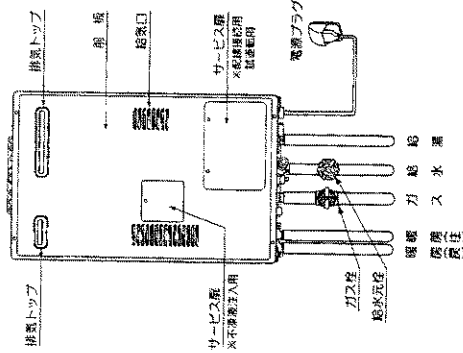
温泉水や井戸水で使うと

- 水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合があります。

各部のなまえとはたらき

機器本体

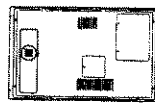
屋外壁掛設置形
BD-2899ARS/L



●バリエーション

PS室内設置形

BD-2899ARS/L



PS室内設置形

前方排気延長形
BD-2899ARS/L



PS室内設置形

後方排気延長形
BD-2899ARS/L



アルコーブ設置形

BD-2899ARS/L



特長

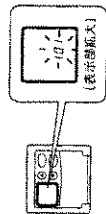
給湯・暖房が同時に使えます。

- 給湯は、恒温（60℃）出湯タイプです。
別売のリモコンを接続すると、好みの温度に設定し使用できる温度調節機能付。
また湯はり完了するとお知らせする湯はりコール機能付。



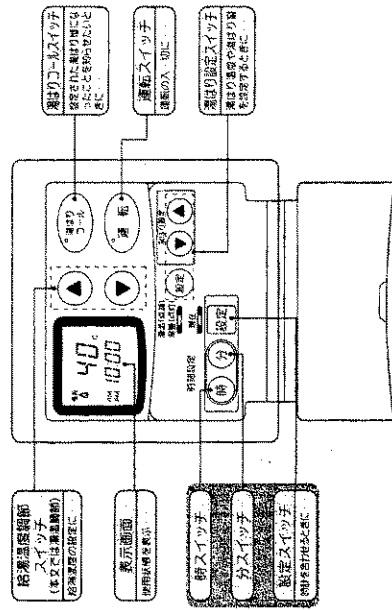
●暖房は、温水利用による快適暖房。

●万一の異常をお知らせする故障表示付。
（別売リモコン使用時）

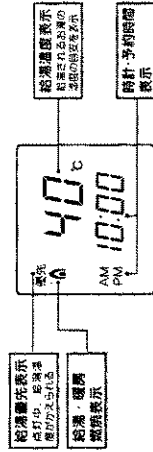


リモコンについて

台所リモコン（標準仕様）〔別売部品〕

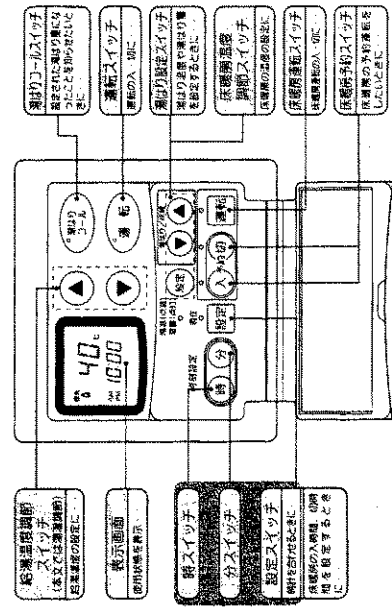


表示画面



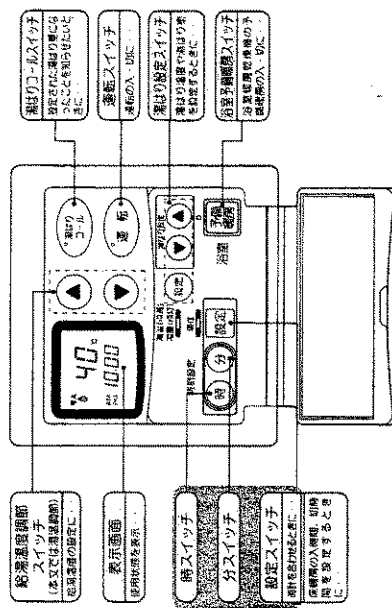
表示は使用状態により異なります。

台所リモコン（床暖房制御機能付）〔別売部品〕

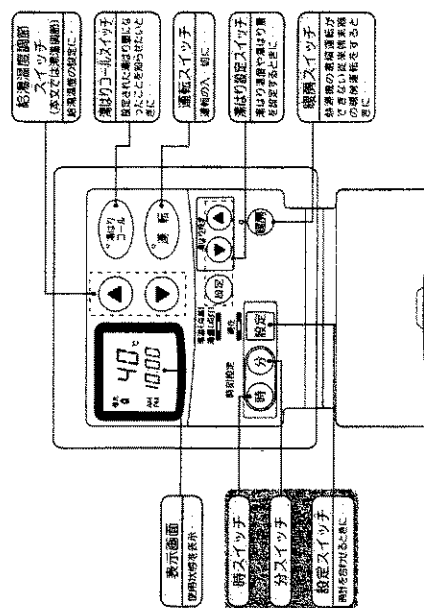


リモコンについて

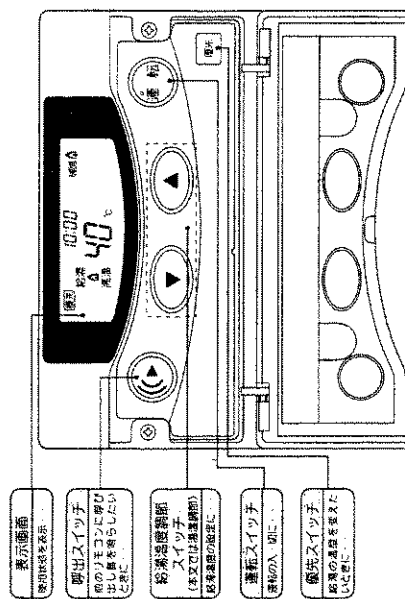
台所リモコン (浴室予備暖房スイッチ付) [別売部品]



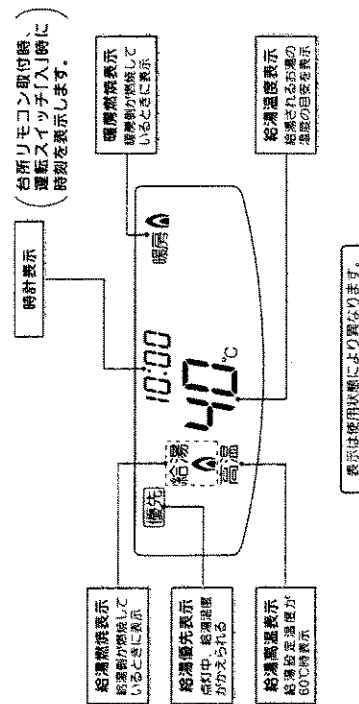
台所リモコン (暖房スイッチ付) [別売部品]



浴室リモコン [別売部品]



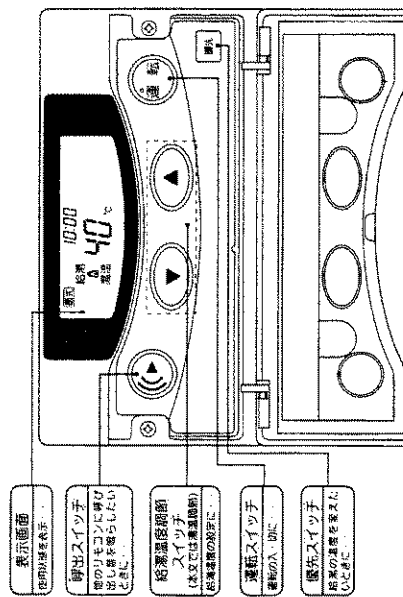
表示画面



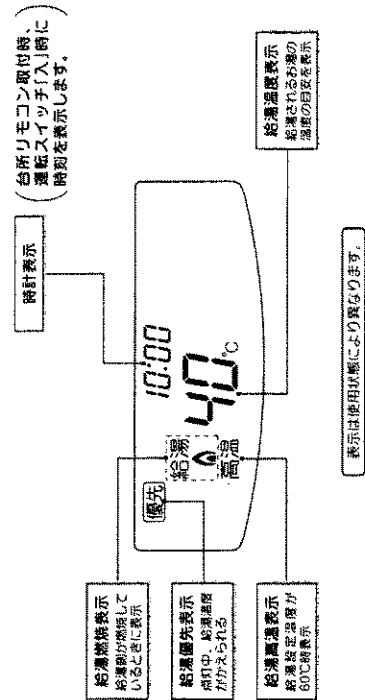
表示は使用状態により異なります。

リモコンについて

増設リモコン【別売部品】



表示画面



安全装置について

安全装置の種類とはたらき

この欄には下記の安全装置が組み込まれています。安全装置の役割、はたらきなどは下記の通りです。

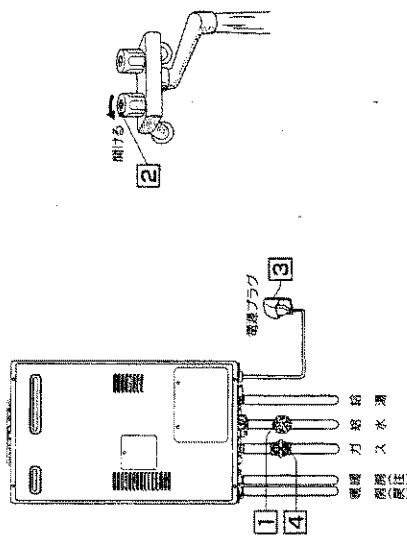
安全装置	作動理由	はたらき (現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス圧が定常であることを確認し、使用してください。
過熱防止安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給湯圧が定常であることを確認し、使用してください。
燃焼安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給湯圧が定常であることを確認し、使用してください。
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。 (機器が使用できなくなります。)	必ず使用をやめて、冷却を待たせ、その後、運転を再開してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	必ず使用をやめて、冷却を待たせ、その後、運転を再開してください。
過電流防止装置	過電流が流れたとき	機器が使用できなくなります。	必ず使用をやめて、冷却を待たせ、その後、運転を再開してください。
凍結予防装置	気温が下がって凍結したとき	機器内に凍り込んだ水が作動し凍結を予防します。 凍結後は凍結解除し、運転を再開します。	凍結後は凍結解除し、運転を再開します。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の圧力を下げ、湯が出ます。 給湯栓を閉じた後、お湯が出る場合があります。	凍結後は凍結解除し、運転を再開します。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの業者ガスに連絡してください。

はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認

1～4の手順で行ってください。



1 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

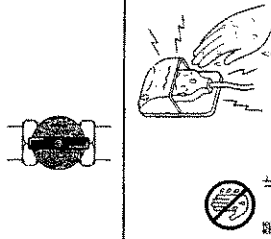
台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

3 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」にする。

4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

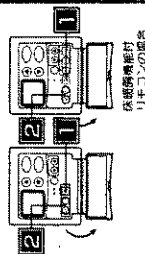


△注意

- ぬれた手で電源プラグをさわらない。
感電のおそれがあります。

現在時刻の合わせかた (別売の台所リモコンで時刻設定操作をします。)

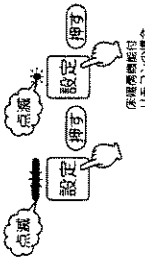
台所リモコン



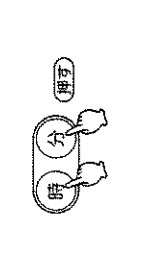
浴室リモコン

時刻設定操作
はできません
(自動的に設定されます。)

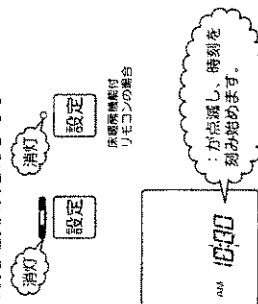
1 設定スイッチを押す



2 時・分スイッチを押す



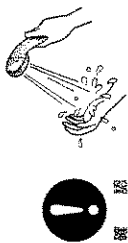
約10秒後ランプが消えて
時刻を刻み始めます。



- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。
本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを押した後、約10秒以内に「時・分
スイッチ」を押さないと自動的に時刻を刻み始め
ます。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が
表示されます。
- 時刻設定をする場合は午前 (AM) と午後 (PM)
を間違えないように設定してください。

警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いぎなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。



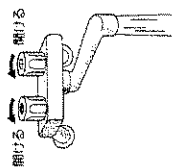
- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
 - お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。
- やけどのおそれがあります。



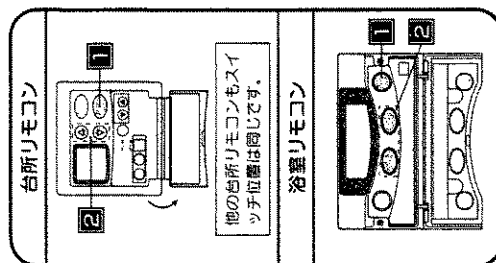
ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞すぎたときや水温が30℃に近いときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が熱くなる場合があります。

このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすが、水と混ぜて使用してください。



1 2 4の手順で行ってください。



1 運転スイッチを押す



表示は台所リモコンの例です。
表示は、「点灯」「消灯」する部
分のみ記載しています。

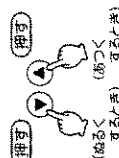
※すでに運転スィッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

給湯設定温度について

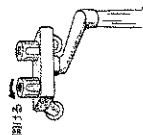
- はじめで使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。
- 給湯温度のめやす



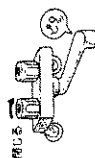
2 湯温調節スイッチ



3 お湯を出す



4 お湯を止める



- 優先表示が点灯していることを確認してください。消灯している場合は17ページの（優先表示の切り替えかた）に従い、使用するリモコンを優先にしてください。

- 表示されている温度は、設定温度で実際の湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 「▲」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃にするときは、もう一度押してください。

お湯の出しかた (別売リモコンがある場合)

△警告

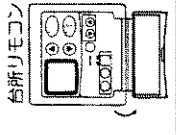
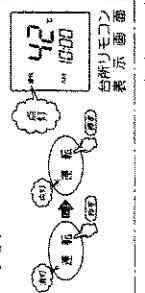
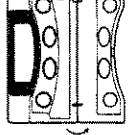
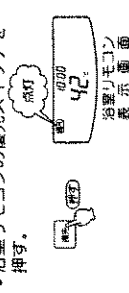
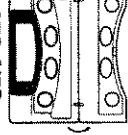
- 優先表示を切り替えるときは必ず燃焼表示が消灯していることを確認する。
- 燃焼表示が点灯しているときの優先の切り替えはしない。
- 使用する前にリモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。

優先表示について

- 複数のリモコンがある場合は優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

- 運転スイッチがすでに「入」の状態 (給湯温度を表示している状態) で示しています。
- 優先にしたいリモコンの優先表示が消灯していることを確認してください。

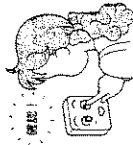
優先にしたいリモコン	
 他の台所リモコンもスイッチ位置は同じです。	または ● 台所リモコンの運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする。 
浴室リモコン 	● 浴室リモコンの優先スイッチを押す。 
増設リモコン 	● 増設リモコンの優先スイッチを押す。 

※ 増設リモコンが優先になっっている場合は、浴室リモコンでは優先切り替えできません。一旦、台所リモコンを優先にし、浴室リモコンの優先スイッチを押してください。

※ 浴室リモコンが優先になっっている場合は、増設リモコンでは優先切り替えできません。一旦、台所リモコンを優先にし、増設リモコンの優先スイッチを押してください。

△警告

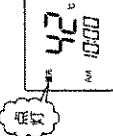
- 前回に設定したお湯の温度を記憶しているため、高温 (60°C) で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。



確かめる

給湯設定温度の記憶について (各リモコンで最後に設定された温度を記憶します。)

- 台所リモコンで紹介をしますが、浴室リモコンでも同じ操作方法です。

お湯を使う。 温度調節を行う。  台	リモコンの運転 スイッチを「切」 にする。  所	再びお湯の使用  台所リモコン運転 スイッチを「入」 にする。 
---	---	--

他の台所リモコンもスイッチ位置は同じです。

リモコンが温度を記憶します。

湯はりコールドのしかた (別売台所リモコンがある場合)

湯はり温度の合わせかた

1 設定スイッチを1回押す

2

他の台所リモコンもスイッチ位置は同じです。

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを1回押した後、約10秒以内に「湯はりの設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている温度に設定されます。
- はじめてお使いになるときは、42℃が表示されます。

湯はり量の合わせかた

1 設定スイッチを2回押す

2

他の台所リモコンもスイッチ位置は同じです。

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを2回押した後、約10秒以内に「湯はりの設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている湯はりの量に設定されます。
- はじめて設定スイッチを2回押したときは、10ℓが表示されます。

2 湯はり温度の設定

湯はり設定変更スイッチで湯はりの温度の設定をする。

湯量を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

2 湯はり量の設定

湯はり設定変更スイッチで湯はりの量の設定をする。

湯はりの量を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

湯はりの温度について

はじめて使用するとき
湯はりの温度は42℃に設定されています。

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

「設定」 「点滅」 「あつめ」

表示されている温度は設定温度で実際の湯はりの温度とは、浴槽の構造や配管条件などにより、多少異なりますのでめやすとしてください。

一度、湯はりの温度を設定すると記憶します。ただし停電後は42℃設定にもどります。

湯はりの量について

はじめて使用されるとき
湯はりの量は10ℓに設定されています。

浴槽の湯量のめやす	1人用	1.5人用	2人用
	約160ℓ	約190ℓ	約240ℓ

湯はりの量は10ℓ～630ℓまでの設定ができます。

湯はりの設定変更スイッチを1回押すごとにまた押し続けると10ℓずつ設定湯量がかわります。

表示されている湯量はめやすとして使用してください。

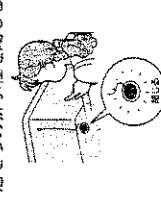
一度、湯はりの量を設定すると記憶します。

湯はりコールのしかた (別売台所リモコンがある場合)

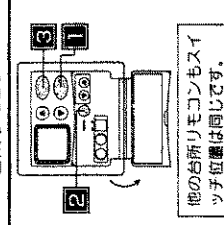
湯はりのしかた

1 浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる



台所リモコン

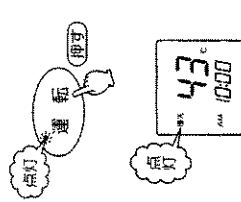


他の台所リモコンもスイッチ位置は同じです。

警告

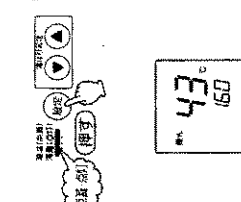
- 夏場など水温が高い場合、設定温度よりも高い温度のお湯が浴そうにはられる場合があるため、湯はり中や入浴前には必ずお湯の温度を確かめてから入浴する。やけどのおそれがあります。

1 運転スイッチを押す



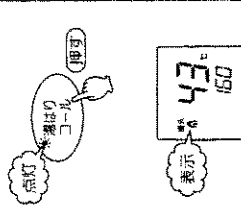
※すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

2 湯はり温度・湯はり量の確認
設定スイッチを押す。



数秒後、表示は消えます。

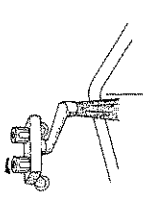
3 湯はりコールスイッチを押す



湯はり量は約10秒間表示し、自動的に時刻表示にもどります。

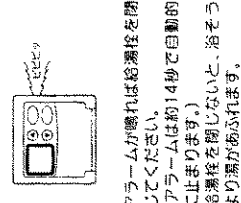
湯はりコールスイッチを押すと設定温度は37～48℃となります。

4 給湯栓を開く



5 給湯栓を閉じる

- アラームが鳴り設定した湯量になったことをお知らせします。



- アラームが鳴れば給湯栓を閉じてください。
(アラームは約14秒で自動的に止まります。)
- 給湯栓を開しないと、浴そうより湯があふれます。

ワンポイントアドバイス

- 「湯はりコール」使用中でも湯はり温度は変更することができます。
19～20ページ「湯はり温度の合わせかた」に従って操作してください。
- 「湯はりコール」使用中、他の給湯栓を使用したりすると湯はり量が少なくなります。
- 「湯はりコール」使用中は浴室リモコンに優先代替できません。
- 「湯はりコール」使用中は、湯温調節スイッチでの給湯設定温度変更はできません。
- 浴室リモコン優先時に湯はりコールスイッチを押すと、自動的に優先表示が台所リモコンに切り替わります。
- 湯はりコールスイッチを押すと常に湯はり温度が最優先となります。
- 湯はりコールスイッチを押したあとの給湯設定温度は自動的に湯はり設定温度と同じ温度に変わります。

お湯の出しかた (別売リモコンがない場合)

△警告

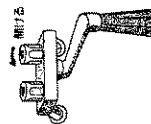
- 給湯栓からは約60℃の熱いお湯が出ます。
やけど防止のために先に給水栓を開けてお湯の水を出し、それから給湯栓を開けてお好みの温度に調節してください。
- 給湯、シャワーなど2箇所を同時使用する
と湯量が少なくなり、湯温が変化すること
がありますので、再度お湯の温度を確
かめてから使用してください。
やけどのおそれがあります。



1～3の手順で行ってください。

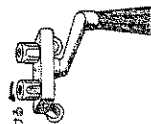
1 給水栓を開く

(混合水栓の水側)



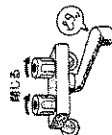
2 温度調節をする

●給湯栓 (混合水栓のお湯側) を開けてお好みの温度に調整する。



3 給湯栓・給水栓を閉じる

(混合水栓のお湯・水側)

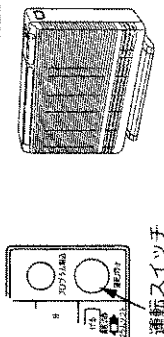


ワンポイントアドバイス

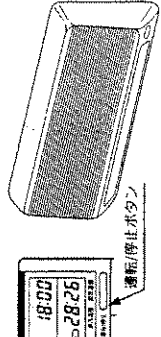
- お湯の量を絞るすぎると水になることがあ
ります。
(機器内に水量を感知する装置 (水量センサー) が組み込まれており、約2.5ℓ/分以下になると燃焼が停止するは組みになっています。)
- 停電・断水時は、運転を停止しますので、
給湯栓・給水栓を閉じてください。

暖房のしかた

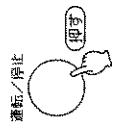
放熱器



エアコン



1 放熱器またはエアコンの運転スイッチを押す

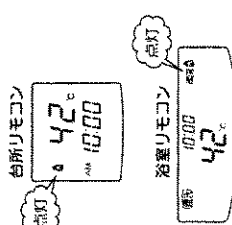


- 台所リモコンの、運転スイッチON状態・OFF状態にかかわらず、暖房運転します。(運転スイッチをON状態にする必要はありません。)
- 放熱器やエアコンにはいろいろな種類がありますので、それぞれの取扱説明書に従って操作してください。
- エアコンの場合、暖房のモードになっていることを確認してください。

※放熱器の運転スイッチに連動して暖房運転をしないシステムの場合は、暖房スイッチ付台所リモコンが必要です。(別売部品)
※床暖房制御機能付リモコンを使用している場合は25ページを参照してください。
※浴室予備暖房スイッチ付リモコンを使用している場合は31ページを参照してください。

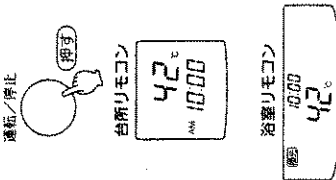
2 暖房運転の開始

暖房運転の燃焼中はリモコンの暖房燃焼表示が点灯します。



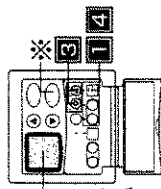
3 暖房運転の停止

放熱器またはエアコンの運転スイッチを押す。

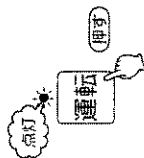


床暖房のしかた (床暖房制御機能付リモコン使用時)

台所リモコン



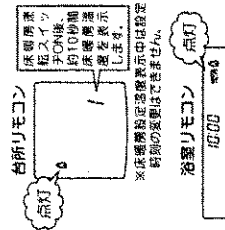
1 床暖房運転スイッチを押す



- ※の運転スイッチON状態・OFF状態にかかわらず、暖房運転します。(※の運転スイッチをON状態にする必要はありません。)

2 床暖房運転の開始

暖房運転の燃焼中はリモコンの暖房燃焼表示が点灯します。



※床暖房燃焼表示中は設定時刻の暖房はできません。

床暖房設定温度について

- はじめて使用するときには床暖房温度は1に設定されています。
- 床暖房温度は9段階に分かれています。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
低温								高温

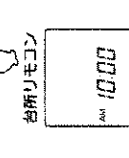
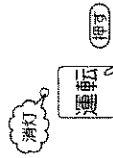
3 床暖房温度調節スイッチを押す



※すでにご希望の温度に設定されている場合は、この操作は必要ありません。

4 床暖房運転の停止

床暖房運転スイッチを押す。



浴室リモコン 10.00

警告

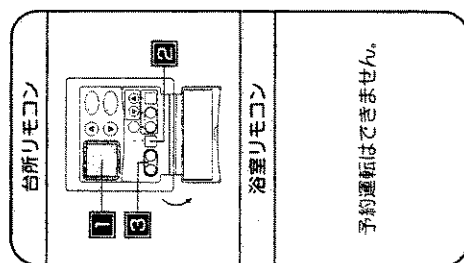
- 長時間暖かろうたりする場合は、床面温度を上げすぎない。床面温度を高くして、床に長時間接触しますと、皮膚障害を起すおそれがあります。



止

床暖房予約のしかた (床暖房制御機能付リモコン使用時)

床暖房予約「入」時刻のみ設定する場合



1 現在時刻の確認

液晶表示: 10:00 AM

確認ボタンを押す

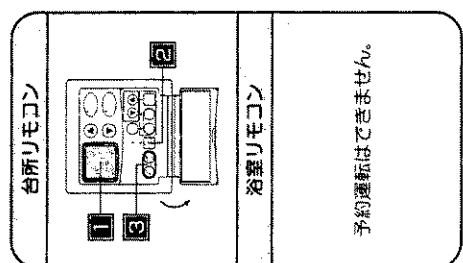
2 設定スイッチを3回押す

液晶表示: 12:00 AM

設定ボタンを押す

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 時刻が合っていないときは、13～14ページの「現在時刻の合わせかた」を参照し、時刻を合わせてください。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が表示されます。

床暖房予約「切」時刻のみ設定する場合



1 現在時刻の確認

液晶表示: 10:00 AM

確認ボタンを押す

2 設定スイッチを4回押す

液晶表示: 12:00 AM

設定ボタンを押す

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 時刻が合っていないときは、13～14ページの「現在時刻の合わせかた」を参照し、時刻を合わせてください。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が表示されます。

3 時・分スイッチを押す

液晶表示: 7:00 AM

時・分スイッチを押す

- 予約時刻を合わせるときは、午前 (AM) と午後 (PM) を間違えないように設定してください。

約10秒後ランプが消えて設定完了です。

液晶表示: 10:00 AM

消灯ボタンを押す

- 各スイッチ操作の間隔が10秒以上になると自動的に現在時刻表示に戻ります。

3 時・分スイッチを押す

液晶表示: 7:00 AM

時・分スイッチを押す

- 予約時刻を合わせるときは、午前 (AM) と午後 (PM) を間違えないように設定してください。

約10秒後ランプが消えて設定完了です。

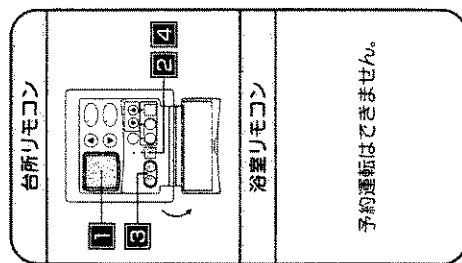
液晶表示: 10:00 AM

消灯ボタンを押す

- 各スイッチ操作の間隔が10秒以上になると自動的に現在時刻表示に戻ります。

床暖房予約のしかた (床暖房制御機能付リモコン使用時)

床暖房予約「入」「切」時刻を連続で設定する場合



1 現在時刻の確認

AM 10:00

確認

2 設定スイッチを3回押す

「入」時刻の設定

点灯
消灯
設定
入+切
押す

約10秒間予約時刻を表示します。

PM 7:00

約10秒間予約時刻を表示します。

※予約時刻表示中は設定時刻の変更はできません。

3 時・分スイッチを押す

5分間隔で変わります。

押す

PM 7:00

ご希望の時刻に

4 設定スイッチを1回押す

「切」時刻の設定

点灯
消灯
設定
入+切
押す

約10秒間予約時刻を表示します。

AM 12:00

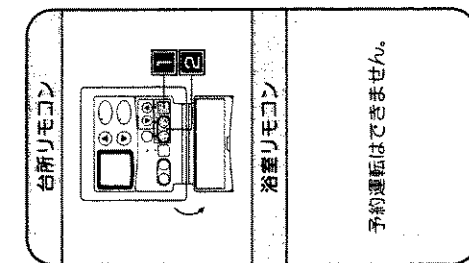
予約時刻に変わります

時刻設定は**3**と同じ操作で行ってください。

※予約時刻を合わせるときは、午前 (AM) と午後 (PM) を間違えないように設定してください。

※各スイッチ操作の間隔が10秒以上になると自動的に現在時刻表示に戻ります。

床暖房予約運転のしかた (「入」「切」を独立して予約できます。)



1 予約入スイッチを押す

点灯
消灯
設定
入+切
押す

約10秒間予約時刻を表示します。

PM 7:00

約10秒間予約時刻を表示します。

※予約時刻表示中は設定時刻の変更はできません。

床暖房運転

※予約設定された時刻になれば、床暖房運転ランプが点灯し、床暖房運転をします。

※床暖房運転を停止したい時は、床暖房運転スイッチを押す。

点灯
消灯
設定
入+切
押す

床暖房予約運転「切」のしかた

1 予約切スイッチを押す

点灯
消灯
設定
入+切
押す

約10秒間予約時刻を表示します。

AM 1:00

約10秒間予約時刻を表示します。

※予約時刻表示中は設定時刻の変更はできません。

2 床暖房運転スイッチを押す

点灯
消灯
設定
入+切
押す

約10秒間予約時刻を表示します。

PM 7:00

約10秒間予約時刻を表示します。

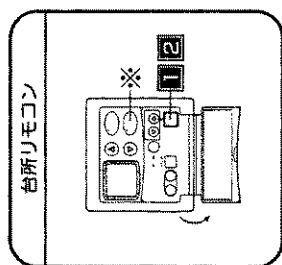
※予約時刻表示中は設定時刻の変更はできません。

床暖房運転の停止

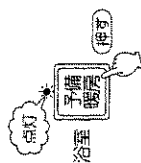
※予約設定された時刻になれば、床暖房運転ランプが点灯し、床暖房運転をします。

※すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

予備暖房運転のしかた (浴室予備暖房スイッチ付リモコン使用時)

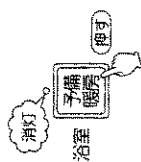


1 予備暖房運転スイッチを押す



- ※の運転スイッチON状態・OFF状態にかかわらず、暖房運転します。(※の運転スイッチをON状態にする必要はありません。)

2 予備暖房運転の停止



- この予備暖房運転には、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。

予備暖房運転とは

冬の一掃風呂のように浴室が冷えている場合に、入浴前に予備暖房にしたいと、温風により浴室を暖め、入浴時に感じる肌寒さをやわらげることができます。

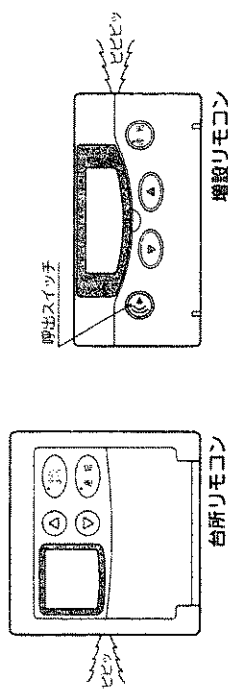
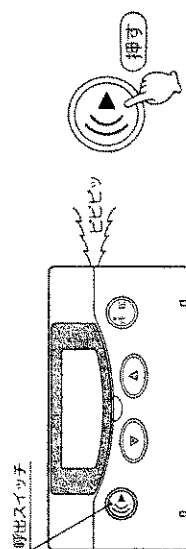
- 運転開始は入浴される約30分ほど前から行ってください。

(予備暖房時間は、浴室の種類や大きさ、気温や湿度によって異なります。浴室暖房乾燥機のリモコンで設定調整してください。)

呼び出し音を鳴らしたいとき

台所と浴室リモコン、台所と増設リモコンまたは、浴室と増設リモコンを使用されているときは、人を呼ぶ必要が生じたときなどに声を出さずに知らせることができます。(リモコンは別売部品)

呼出スイッチを押す



- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。(押し続けている間鳴り続けます。また、手を離した後も数秒間鳴り続けます。)
- 浴室から呼び出し音を鳴らすことができるので、シャンプーや石けんなどがなく困ったときも呼出スイッチがあれば便利です。

音量の調節について

給湯 呼出スイッチと運転スイッチを同時に3秒以上押し続ける(ビビッと鳴ると変更完了)と下記3段階に変更することができます。

モード	リモコン操作音 湯はり完了報知音	呼出音
1	音量大	音量大
2	音量小	音量小
3	OFF	音量大

操作を繰り返すことに
切替わります。

1 → 2 → 3

※初めて使用されるときは、モード1に設定されています。

※各リモコンで、個別に設定できます。

※停電など、一時的に電源が切れた後はモード1になりますので再度設定してください。

凍結予防のしかた(1)

■冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法 (通常の寒さのとき)

給湯側

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 電源プラグが差し込まれていることを確認する。(ハイジャンプ設置の場合は機器用屋内ブレーカーが「入」になっていることを確認する。)



リモコンの運転スイッチ「入」「切」に關係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

■外気温が-10℃よりも低いときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。34ページの「適水による方法」または、35ページの「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

暖房側

気温が下がってくると自動的にポンプが回り燃焼を開始し、凍結を予防します。

- 1 ガス栓が開いていることを確認する。

- 2 各部屋の操作つまみを「※」にする。

※放熱器(エアコンなど)は種類によって、凍結予防運転の方法が異なるため、放熱器の説明書をお読みください。

不凍液について

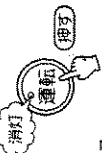
暖房側の凍結予防には不凍液を使用している場合もあります。不凍液は適正濃度を保つため1年に1度点検が必要です。お買求めの販売店、担当メンテナンスまたは、もよりの東邦ガスに連絡してください。

■冷え込みが激しいときは次のような措置を行ってください。
(外気温が-10℃より低いとき)

通水による方法 (異常寒波などのとき)

- 1 浴そうのお湯を排水する。

- 2 (リモコンがある場合) リモコンの運転スイッチを「切」にする。

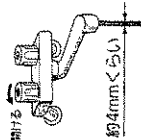


- 3 ガス栓を閉じる。



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

- 4 給湯栓より水を少量流す。
(1分間に約400cc...太さ約4mm)



給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

- 1 電源プラグを抜く。(リモコンがある場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にする。)

- 2 ガス栓を閉じる。

- 3 給水元栓を閉じる。

- 4 給湯栓を全開にする。

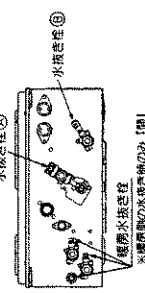
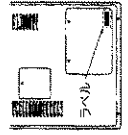
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。

- 6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用する。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。
凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

凍結予防のしかた(2)

■機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合、または長期間にわたって機器を使用せず電源を「切」にするときは、必ず「水抜き」を行ってください。

機器内の水を抜く方法 (冷え込みが激しいとき、長期間使用しないときなど)	給湯側	暖房側
△注意 ●お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。 ●お湯の抜きは、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。	1 電源プラグを抜く。 (機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用室内ブレーカーを「切」にする。) 機器用室内ブレーカーを切る場合、電気が遮断されて固くなるような電気器具と共有されている場合は、とくに注意してください。 2 ガス栓を閉じる。 3 給水元栓を閉じる。 4 すべての給湯栓を全開にする。 5 水抜き栓 ④ ⑤ を左に回して開ける。 機器からの排水量は約850ccです。適切な容量を準備してください。  (機器底面) 給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。	●本体前板下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認してください。 ＜不凍液が入っている場合＞ 以下の1～4の操作は必要ありません。 ＜不凍液が入っていない場合＞ 以下の1～4の操作で暖房側の水抜きしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。  ラベル 1 電源プラグを抜く。 (機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用室内ブレーカーを「切」にする。) 機器用室内ブレーカーを切る場合、電気が遮断されて固くなるような電気器具と共有されている場合は、とくに注意してください。 2 ガス栓を閉じる。 3 給水元栓を閉じる。 4 暖房水抜き栓を左に回して開ける。 機器からの排水量は約1400ccです。適切な容量を準備してください。
	再度使用するとき 1 水抜き栓 ④ ⑤ および暖房水抜き栓 (暖房回りの水抜きをされた場合) を右に回して開める。 2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。 3 必ずすべての給湯栓を開いてから13ページからの「使いかた」に従って使用してください。	

点検・お手入れ

点検 (月に1回程度)

点検のしかた	処置
機器の周りや排気トップ・排気筒のそばに燃えやすいものを置いていませんか?  発火注意	燃えやすいものを除いてください。
運転中に機器から異常音や不快な臭いなどがありますか?	機器の外観に異常がありませんか?
排気トップおよび排気口にほこりや変色したあとがありませんか?	お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。
機器や配管からガスの臭いはありませんか?	機器や配管から水漏れはありませんか?

定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも安全に、より長く使用していただくために1年に1回程度の定期点検をおすすめします。

詳しくはお買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに相談してください。

この場合は有料となります。

点検・お手入れ

お手入れ (月に1回程度)

- 給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜きパイプシャフト設置の場合は機器用室内ブレーカーを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。
- 機器の前面をはずしたり、リモコンを分解しないでください。

お手入れのしかた

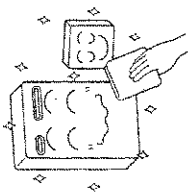
固くしぼった布で汚れをふきとってください。

ベンジンやシンナーなどは使わないでください。

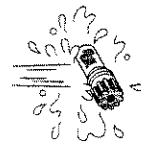
機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。

リモコンは故障に水や洗剤などをかけないでください。

リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。



- 1 給水元栓を閉じる。
- 2 水抜き栓④を左に回してははずす。
- 3 水抜き栓④の水フィルターを水洗いして掃除する。



水フィルター

水抜き栓④

(機器底面)

※機器により水抜き栓の取付方向が上図と異なる場合があります。

故障かな?と思ったら

■故障かな?と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こ	な	と	き	お	き	え	し	ま	す	参	照	ペ	ー	ジ
●リモコンの運転ランプが点灯しない。 (時計表示が消えている。) (別売リモコンがある場合)				●停電していませんか?										5
●給湯栓を開いてもお湯にならない。(水のまま)				●停電していませんか? ●ガス栓が全開になっていませんか? ●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか?										5 13 13
●給湯栓を開いても水がでない。				●給水元栓が全開になっていませんか? ●断水していませんか? ●凍結していませんか?										13 6 33
●高温のお湯がでない。				●湯温調節は適切ですか? ●ガス栓が全開になっていませんか?										15 13
●低温のお湯がでない。				●湯温調節は適切ですか? ●機器の水フィルターがつかまっていませんか? ●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか?										15 37 13
●使用中、湯温が極端に変動する。				●ガス栓が全開になっていませんか? ●給湯栓・給水元栓が全開になっていますか?										13 13
●暖房がきかない。				●ガス栓が全開になっていませんか?										13
●時計表示が「0:00」になっている (別売リモコンがある場合)				●停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0:00」になる場合があります。なお、結露・設定温度表示、湯量表示などもお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので再設定してください。										13

※リモコンに故障表示が点滅している場合でも、まず上表に従ってお調べください。お調べ後も故障表示が点滅している場合は40ページの故障表示についての頁を参照してください。

(別売リモコンがある場合)

- 以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの東邦ガスに連絡してください。

不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対に皆さま自身でなさらないでください。

故障かな？と思ったら

■ 次のような現象は故障ではありません。

こ ん な と き	お 答 え し ま す
● 給湯栓を絞ったら水になる。	● 給湯栓からのお湯が1分間に約2.5リットル以下になると消火します。
● 給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	● 機器から給湯栓までの距離があるため、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
● お湯が白く濁っている。	● 白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
● 低温のお湯がでない。	● 夏場などの水温が高い場合には、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。お湯の温度をもっと開けて湯量を増やすか水と混ぜて使用してください。
● 運転を停止しても、しばらくの間機器で音がする。	● 再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間ファンがまわります。再使用にそなえる機器の動作音が数秒間聞こえる場合があります。
● 給湯設定温度が40℃にかわっている。	● 停電が起きたときは、停電前の給湯設定温度にかかわらず40℃にかわります。再度設定しなおしてください。
● 停電復旧後にお湯がでない。	● お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電してもリモコンの運転スイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
● 寒い日に排気トップから白い煙がでる。	● 冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
● 冬期など寒いときに暖房を使用していないのに暖房燃焼する。	● 凍結予防のため、ポンプが回り暖房燃焼をするためです。
● 暖房を使用していないときにポンプ音がする。	● ポンプの回数を防止するために、自動的にポンプを回しているためです。
● 浴室(増設)リモコンの時計表示が消えている。	● 浴室(増設)リモコンだけでは時計表示しません。
● 浴室(増設)リモコンの時計表示が消えている。	● 浴室(増設)リモコンと合わせて使用している場合、運転スイッチ「入」のときのみ浴室(増設)リモコンで時刻を表示します。

故障表示 (OKモニター) をお調べください。(リモコンがある場合)

● 機器に不具合が生じると、リモコン表示画面に下記の数字が点滅します。

台所リモコン



浴室リモコン/増設リモコン



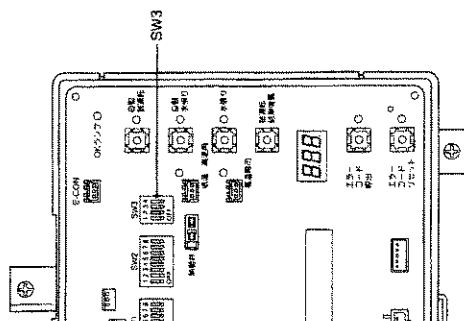
表示パネル	内 容	処 置 方 法
011	長時間燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして表示が出なければ正常です。
101	給湯部システムの不具合	※
111	給湯バーナー不燃火	
113	暖房バーナー不燃火	
121	給湯バーナー失火	
123	暖房バーナー失火	
140	安全装置システムの不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして表示が出なければ正常です。
161	給湯部システムの不具合	※
173	暖房部システムの不具合 (1)	
301	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
313	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
321	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
323	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
351	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
433	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
510	ガス電圧システムの不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして表示が出なければ正常です。
543	暖房部システムの燃焼ミス (2)	※
611	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
613	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
700	燃焼部システムの燃焼ミス (1)	
710	燃焼部システムの燃焼ミス (2)	
711	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
713	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
721	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
723	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
730	燃焼部システムの燃焼ミス (3)	
740	燃焼部システムの燃焼ミス (1)	
750	燃焼部システムの燃焼ミス (2)	
760	燃焼部システムの燃焼ミス	
763	燃焼部システムの燃焼ミス	
801	給湯部・ミスタシステムの燃焼ミス	
803	暖房部・ミスタシステムの燃焼ミス	
991	燃焼部システムの燃焼ミス	※

● 処置後も故障表示をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの修理工場に連絡してください。

工事をされる方へ

床暖房スイッチ付き台所リモコン
(別売部品)を使用する場合のみ

- 機器を安全に使用していただくために機器の「工事説明書」と合わせてお読みください。
- ◎ 床暖房スイッチ付き台所リモコンを使用する場合、床暖房の種類による切替が必要です。床仕上げの種類によって下表に従って、機器内の電装基板内スイッチ(SW3)を切り替えてください。出荷時は一般床仕上げに設定されています。
- ① 電源 (100V) をOFFにする。
 - ② 電装基板内のスイッチ (SW3) の2番ピンを操作する。



板 壁 梁 脚

2	OFF	床暖房 ※一般床仕上げ
	ON	床暖房 ※特定床仕上げ

●床暖房切替(SW3)

一般床仕上げ	フロアリング(床仕上げ材の残厚みが15mmを超えるもの、および防湿保材を除く)、カーペット、小機織
特定床仕上げ	防湿保材鋪用仕上げ材、床仕上げ材の残厚みが15mmを越えるもの、うす畳(25mm)、適厚床断熱工法(断熱用、治整用)

✱

フロアリング(床仕上げ材)の総厚みが15mmを越えるもの、および防音床材を除く)、カーペット、小断層

型名	カス給湯暖房機				
型式	YG1639R	YG1639PG	YG1639RQ	YG1639RM	YG1639RN
品名コード	BD-2899ARSJL	BD-2899ARS4	BD-2899ARSAL	BD-2899ARSAL	BD-2899ARSAL
機構	先止め式 温水循環方式		電気外式		
	屋外給湯方式		温水循環方式		
設備品外形寸法	標準スハークタイプ、ダレフトタイプ 高さ750mm×幅480mm×奥行200mm 31kg				
質量	9.8kPa (0.1kg/cm ²)				
最低作動水温	98.1~99.1kPa (1~10kg/cm ²)				
最高作動水温	2.5ℓ/min				
暖房能力	39.2kPa (4mH ₂ O) (8ℓ/minのとき)				
湯量調節方法	電子式ガス比例制御および水量比例制御方式				
燃焼制御方式	電子式ガス比例制御およびON-OFF制御方式				
出湯調節	約37℃から約60℃まで15段階 (リモコン使用時)				
温度調節	高温: 約80℃、低温: 約60℃ (約55~70℃に切替可)				
出湯流量	2.5~16ℓ/min				
排水ポンプ駆動方式	負荷による比例制御				
排水ポンプ容量	負荷による比例制御				
安全装置	火災防止安全装置・空だま防止装置・過熱防止装置・過熱ヒューズ・過圧防止安全装置 (過圧止弁)、停電時安全装置・漏電安全装置 (漏電ヒューズ)・燃焼ファン回転数検知装置・凍結予防装置・水漏れセンサー				
電源	AC100V 60Hz				
消費電力	170W	180W			
運転時間	215W				
運転モード	20A (P3/4) オネジ				
運転モード	15A (P1/2) オネジ				
運転モード	15A (P1/2) オネジ				
運転モード	20A (G3/4) オネジ				
運転モード	15A (P1/2) オネジ				
オプション	本体電源 AC100V 60Hz、30ℓ(うち10ℓは予熱用)				
付属品	取扱説明書・工事説明書・お取り扱い注意書・保証書セット・おしごとセット				

モデル	ガス消費量	1時間当りのガス消費量 (kW)		標準出力 (kW)	
		全ガス消費量	給湯ガス消費量	暖房	能力最大時
A	43.0 (37,000kcal/h)	34.9 (30,000kcal/h)	8.14 (7,000kcal/h)	27.9 (24,000kcal/h)	6.51 (5,600kcal/h)

● 水温+25℃上昇時の出湯能力：16ℓ/min
● 水温+40℃上昇時の出湯能力：10ℓ/min